

3rd International Seminar on Heat Transfer and Fluid Flow 開催報告

国際交流委員会 主査梅川尚嗣

去る6月11日に、日本学術振興会外国人招へい研究者(長期)にて京都大学功刀研究室に滞在しておられましたニューヨーク州立ニューヨーク・シティ大学の川路正裕先生に御講演いただきました。川路先生の日本滞在については来日前からお聞きしており、伝熱学会関西支部でも話題提供をいただける機会が設けられないかと考えてはいましたが日程が合わず、今回なんとか International Seminar の形で場を設けることが出来ました。当日はもう御一方、日本の重鎮の方にお話をお願いしたいということで、原子力安全システムの三島先生にご講演いただきました。かなり無理な日程でお願いしたにもかかわらず快くお引き受けいただきました三島先生に改めて感謝いたします。また今回は今期初めには予定になかった会を、日程の調整がつく日が見つかったということで急遽設けましたため、かなりタイトなスケジュールで実施まで持って行ったにも関わらず、46名と言う多数の方にお集まりいただきましたことに心から感謝いたします。

当日は、本会に先立ちまして関西大学システム理工学部特別講演としまして、川路先生から北米での大学・研究教育についてご紹介いただきました。多くの方がこのパートから参加していただきましたうえ、関西大学の教員・伝熱関係以外の学生も多く聴講していただき、かなり押し気味に話題提供をいただきました。特に、懇親会の席でもなかなか聞けないような内幕的なかなりシビアな話をお聞きする機会がもて非常に好評でした。

本会部分につきましては、まず三島先生から福島を踏まえた INSS の研究活動についてお話しいただきました。こちらかなり時間的にタイトで十分な議論が出来なかったことが非常に残念でしたが、福島事故をへてとられている INSS の研究体制、熱流動系におけるトピックス、国内外の研究連携体制などをご紹介いただきました。

さらに川路先生には米国における最新のエネルギー研究とし、5年前に発足した米国エネルギー省管轄の Advanced Research Projects Agency- Energy の中で紹介された 250 件の研究プロジェクトから 21 件熱流動に関する研究について紹介いただきました。紹介が中心のため少し込み入った議論はしづらい内容ではありましたが、川路先生の言う所の革新的なハイリスクハイリターンの研究であり、当方としては今は昔の民主党政権時代の仕分けと比較してアメリカの強さを感じるところがありました。

なお、終了後二次会、三次会と夜遅くまでお付き合いいただきました両先生ならびに参加者の皆様に改めて感謝いたします。

日時: 2015年6月11日(木)

(13:00~14:30 関西大学システム理工学部特別講演会)

14:45~17:30 3rd Int. Seminar on Heat Transfer and Fluid Flow

JSME 関西気液二相流技術懇話会との合同企画

場所: 関西大学千里山キャンパス第4学舎3号館4階 R3402 教室

スケジュール

13:00~14:30 関西大学システム理工学部特別講演会

北米の大学・大学院における工学教育・研究・学科の運営について

Engineering Education, Research and Departmental Management at North American Universities

ニューヨーク州立ニューヨーク・シティ大学機械工学科教授

エネルギー研究所 副所長

トロント大学化学工学・応用化学科 名誉教授 川路正裕

14:45~17:00 3rd I. S. H. F.

14:45~15:45 福島第一原子力発電所事故を教訓とした INSS の研究活動

(株)原子力安全システム研究所技術システム研究所所長

三島 嘉一郎

16:00~17:00 米国における最新のエネルギー研究について

Advanced Energy Research Projects in the USA

ニューヨーク州立ニューヨーク・シティ大学機械工学科教授

エネルギー研究所 副所長

トロント大学化学工学・応用化学科 名誉教授 川路正裕



Fig.1 川路先生講演風景



Fig.2 会場雰囲気



Fig3. 三島先生講演風景